

10・10 青年部が分割動員を実現するぞ

臨調・行革粉碎！ 三里塚ジェット闘争勝利！

牽引車「青年部」第七回定期委員会かちとる

日夜奮闘する組合員のみなさん！全国のたかすみなさん！
 青年部は、9月2日、千葉運転区講習室において、第7回定期委員会を開催した。本定期委員会は、労働運動一階級闘争が未来を決するであろう重大情勢のなかで行われ、われわれ青年部は全参加者の熱烈な討論をうけて、期せずして一緒になった10・10決戦（三里塚現地決戦と首切り「三本柱実施攻撃」）に10・10三里塚7割2五〇名の大部隊の決起を必ずや実現することを決定した。「われわれは、屈服を拒否し、闘いの道を選択する。三里塚一団鉄をめぐる激突にたじろぐことなく立ち向かおう。労働者階級の荒々しい政治的決起を実現し、反動中曽根内閣を打倒しよう」をスローガンに、これからの激戦・激闘を受けて立つことを全参加者が誓いあった。

「三里塚二期」「国鉄首切り」

攻撃に怒りの発言

委員会は、来賓に反対同盟の伊藤さん、東実の長谷川区議、布施書記長を迎え、冒頭 力強いシユプレヒコールで開会。重大情勢のなかで各代議員、傍聴者の決意みなぎる闘志がいやがうえにも熱くもりあがっていった。

議長団に清水・半田両代議員を選出し、田中青年部長あいさつ、来賓あいさつをうけて経過報告と議事が進行していった。

青年部は、「三里塚一団鉄を基軸とした反帝大衆闘争の爆発で中曽根内閣を打倒しよう」と決意してから一年、新たな前進をかちとってきた。とりわけ、3・25三里塚への5割動員決起は、労働運動の「常識」を打ち破るものであり、いまもなお各地で闘う労働者にすさまじいインパクトを与え続けている。

こうしたことによつて、いよいよ、二期着工強行情勢に入った三里塚、そして、新たな段階へとエスカレートした国鉄首切り攻撃に対し、代議員・傍聴者をふくめて、怒りの発言がかわされた。「もはや中曽根を打倒しなくてはならない」「あらゆる勢力が総転向・総屈服し、革マルや脱落派は敵とつるんでわれわれにおそいかかってくる。断じて許せない」「新小岩は10・10に7割を実現する」「津田沼も絶対に実現する」「検修四支部は8割だ」との発言があいつぐ。

青年労働者の力で

未来を切り拓こう

最後に布施書記長、青年部長から討論のまとめを「職場では様々な攻撃のなかで自分の意にそぐわな

青年部通信員・発

いこともある。しかし、全員で徹底的に話し合う作風を強化して全員が活動家になろう。10・10はまさに決戦である。三里塚に決起する力が必ずや未来を切り拓く。宣言した以上必ずやりきろう」と提起した。

最後に当面、9・6全斗煥来日阻止闘争を皮切りに10・10決戦、秋の決戦に撃って出ることを全員で確認。「分割・民営化」に絶対反対する決議をはじめ4つの決議文を採択し、新役員体制を確立し、ガンパロー三唱で閉会した。

すべての組合員のみなさん！
 青年部は、10・10をはじめとしたこの秋の決戦に最先頭でたたかうことを決意します。



「三里塚一団鉄」秋の決戦に撃ってでるぞー！

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ！